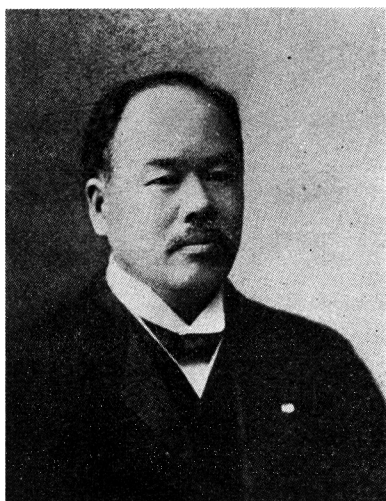


特 集

呉秀三先生の生誕100年を記念して



写真に呉秀三先生—大正3年撮影—

□ はじめに □

江 副 勉

本年は、わが国近代精神医学の Begründer であられた呉秀三先生が、慶応元年2月、江戸青山に誕生されて、正に百年めにあたる年であり、精神神経学会にとって記念すべき年であります。

先生が三浦謹之助先生とともに創設された日本神経学会（1901）のこんにちの隆盛を思い、また先生がもつとも力を尽された精神障害者対策が重大な社会問題となつていくときにおいて、先生の先駆的な精神をあらためて確認し、その今日的意義をほりおこすことは、きわめて意義のあることである。

このため、先生ともつとも関係の深い東京大学

精神医学教室と都立松沢病院が中心となり、さきに呉秀三先生生誕百年記念実行委員会（委員長・内村名誉教授）が組織され、各種の記念行事が計画されている。先生ゆかりの地広島において4月に開催される第62回日本精神神経学会総会にあたっては、記念講演が「日本精神医学の回顧と展望」と題して、林道倫、内村祐之両名誉教授によつて行なわれる。また去る2月13日には午前中多摩霊園の先生の墓前において、墓前祭がとり行なわれ午後第58回関東精神神経学会が開催された。この学会では、先生が、精神障害者医療体系の充実整備、精神衛生活動の推進にあたり、つねに高い識見と不屈の精神をもつて奮闘されたその業績を再確認し、あわせて今後の精神医療の方向を明確にするために、特別のプログラムが準備され、実り多い学会であつた。

ここに、この学会での講演をまとめて、呉秀三先生生誕百年記念特集とし、あらためて呉精神を偲ぶこととする
(都立松沢病院)